

国立市における幼保小連携の取組について

国立市では、令和2年度より教育委員会、子ども家庭部、くにたち子どもの夢・未来事業団で協力し、市内幼稚園、保育園、認定こども園などの就学前教育施設と小学校との連携の取組を進めています。このパンフレットは、保護者の皆様にその内容をお知らせするために作成しました。

国立市で幼保小連携推進事業を進めてきた背景

国立市では、下記の3点を背景に幼保小連携推進の研究を進めてきました。

人間を大切に

というまちづくりの基本理念を基にした国立市のあらゆる保育・教育施策の実現

学びのギャップ解消

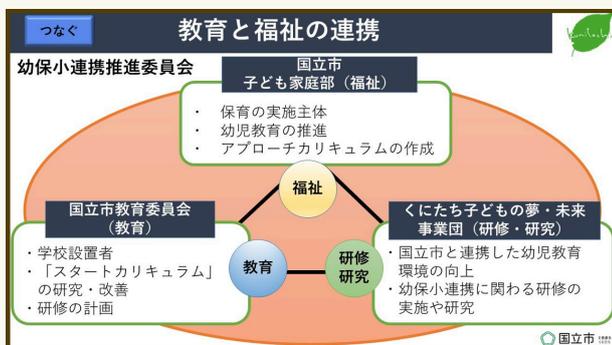
「幼児期の生活と遊びを通した学び」と小学校教育の「教科を中心とした学び」のギャップ解消

東京都モデル事業の指定

「就学前教育と小学校教育の一層の充実に関する研究協力地区」としての指定

(令和5年度まで)

教育部門と子ども部門の連携



国立市では、教育委員会、子ども家庭部、くにたち子どもの夢・未来事業団の3つの組織で「幼保小連携推進委員会」を立ち上げ、取組を進めてきました。

小学校を管轄する教育委員会、保育園等を管轄する子ども家庭部が連携することで、国立市として年間を通して計画的に就学前教育施設と小学校との交流を行い、円滑な接続を図ることができるようにしています。

国立市の取組の3つの柱

1 国立市版「幼保小連携プログラム」の取組

就学前教育施設と小学校をつなぎ、円滑な接続を図るための職員研修・相互交流プログラムの策定

2 就学前教育施設の「アプローチカリキュラム」の取組

就学前教育施設での活動を通じて育んできた力(資質・能力)の整理・小学校への接続方法の検討

3 国立市立小学校の「スタートカリキュラム」の取組

入学した子どもたちが小学校生活をスムーズにスタートできるよう「スタートカリキュラム」の改善

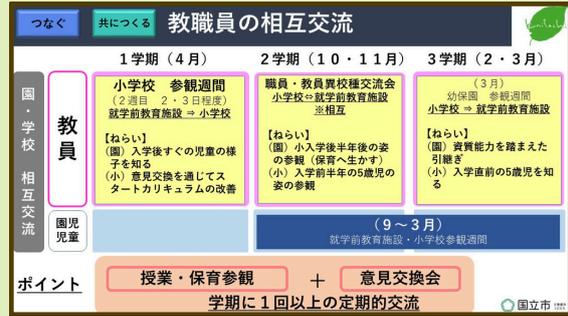
1 国立市版「幼保小連携プログラム」の取組



就学前教育施設での学びや一人ひとりの子どもの育ちや実態を把握したうえで、スムーズに小学校生活をスタートするために、国立市内の全小学校と就学前教育施設をグループ化し、園と学校の職員の相互交流や共同での研修を実施しています。

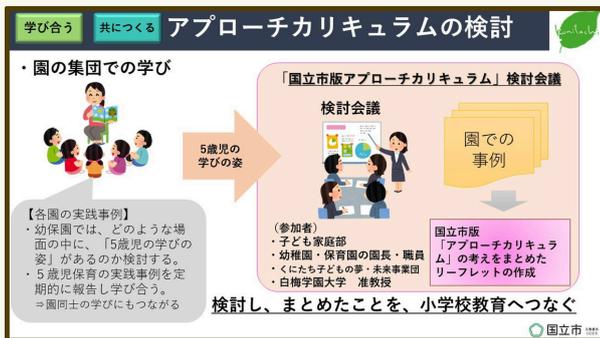


国立市内の小学校を核として8つの小グループを編成



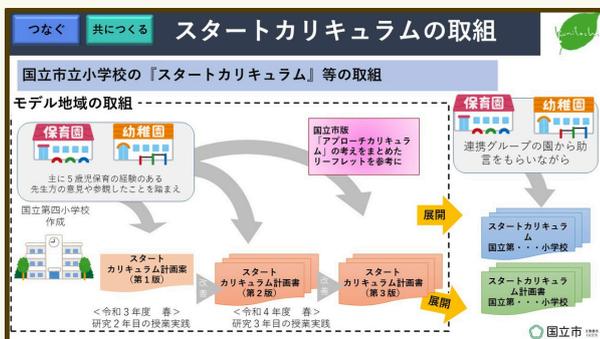
小学校教員と就学前教育施設職員で、授業参観や意見交換会などの相互交流

2 就学前教育施設の「アプローチカリキュラム」の取組



就学前教育施設での取組や子どもたちの育ちの姿を小学校へ伝えていくためのツールとして各園での事例を持ち寄り、アプローチカリキュラムを作成しました。

3 国立市立小学校の「スタートカリキュラム」の取組



連携グループの中で、小学1年生の授業を参観し、参観後の協議会で意見交換をすることで小学1年生の最初の1～2週間目のスタートカリキュラムの改善を行い、子どもたちが安心して学べる授業づくりを行っています。

国立市では、上記のとおり、幼稚園・保育園・認定こども園等の職員と小学校の教職員が互いの取組を理解し、就学前教育施設から小学校教育への「架け橋期」の取組を充実させることで、一人ひとりのお子さんがその子らしく、安心して小学校生活をスタートできるよう取組を進めています。